

## 簡単・便利な ICT 機器のご紹介

ーシート型電子黒板とワイヤレスタブレットで効果的でわかりやすい授業を実現ー

プラス(株) ビジョン事業本部 営業統括部 東日本営業部 部長 安齋 彰  
aanzai@plus.co.jp

キーワード：移動ができる、シート型電子黒板、机間巡視しながら操作可能なワイヤレスタブレット

### 1. 移動できる簡単・便利な電子黒板

プラスは、教室の黒板やホワイトボードに簡単に貼り付けでき、移動も簡単なシート型電子黒板 UPIC を発売しています。

読取方式はアノト方式を採用。シート面に印刷された独自のドットパターンをデジタルペンの先に内蔵されたカメラで読み取り座標を認識、読み取ったデータは Bluetooth でパソコンへ送信します。

この方式により電源ケーブルやパソコンとの接続ケーブル不要のケーブルレスを実現。ケーブルがないため、足を引っ掛ける心配もなく、使い終わったら丸めて持ち運びが可能です。また読み取りセンサーもないため、シート面にチョークの粉がついても水にぬれても壊れることはありません。

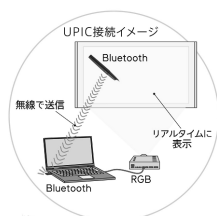


図 1：UPIC 接続イメージ

### 2. シート型電子黒板 UPIC の便利な活用方法

#### (1) 普通教室での活用

UPIC は普通教室の黒板に貼り付けて、板書と電子黒板を融合して活用することをお勧めしています。電子黒板は「道具」として授業の中で「さりげなく」「簡単に」活用できることが重要です。全ての先生方が使えるよう過度な ICT 操作を伴う複雑な機能は取らず、直感的に操作可能なシンプルな機能に集約しているため、児童・生徒にも使いやすい電子黒板です。プラスの目標は「全ての普通教室に電子黒板を行き渡らせること」。これにより日常的な活用頻度が上がり、効果的な ICT 機器活用が授業を充実させ、結果として学力向上に結びつくと考えています。

UPIC を全ての普通教室に行き渡らせるため、値頃感のある価格設定をしています。



写真 1：使用イメージ

#### (2) 学校にある機器、既存教材との連携

UPIC は学校にあるプロジェクタやパソコンをそのまま使用できます。また活用の幅を広げるために書画カメラとの併用をお勧めしています。

立体物や教科書、児童・生徒のノートなどを拡大投影し、そこに書き込みながら説明できるので様々な教科での活用が促進されます。

ICT 機器やデジタル教科書だけでなく既存教材を効果的に併用することで、より理解力が高まります。



写真 2：UPIC とプロジェクタと書画カメラ

### 3. 歩きながら操作可能なタブレット

次に、教室にあるデジタル TV を簡易電子黒板に変えるワイヤレスタブレット UPIC Notepad をご紹介します。

UPIC Notepad はデジタル TV に投影したパソコン画面を教室内のどこからでも操作することが可能です。UPIC 同様デジタルペンから Bluetooth で通信できるので、教室を机間巡視しながら操作することができ、児童・生徒の近くで指導したり、児童・生徒が自席から操作することも可能となっています。

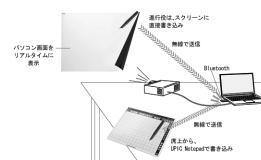


図 2：UPIC Notepad 接続イメージ

#### (1) UPIC Notepad の便利な機能

UPIC Notepad は「バーチャルレーザーポインタ機能」や「スポットライト機能」も搭載しており、これらの機能を効果的に活用することで、より楽しくわかりやすい授業を実現できます。

#### (2) UPIC との連携

UPIC Notepad は UPIC との連携も可能です。UPIC を黒板に貼り付け、児童・生徒が書き込みをする、先生は UPIC Notepad を持ち机間巡視しながら UPIC の投影画面に書き込むなど、授業の方法が更に広がります。